

林病院OB会

忘年例会を開催

支え合う仲間

第10号

発行
林病院OB会

発行責任者

浅口市金光町八重190-1
加賀純雄
TEL090-9410-3593



林病院OB会忘年例会に参加して

北2病棟 濱野優子

2022年4月にいた病院含め、どつぱり精神科看護に私が北2病棟に移動... 携わっていた20年と違うことだらけで

現在も新しい発見をさせてもらっています。

アルコール依存症では皆さんの症状・酒害など千差万別です。誰一人同じという事はありません。だからこそ全員に同じ対応ではないと感じます。しかし、自分のかかりを振り返り、何か出来る事はないか、こんな関わりで良いのか日々悩んでおります。そんな中、声を掛けて頂き今回初めて、午前中に林病院OB懇談会、午後は林病院OB会忘年例会に参加させて頂きました。OBの方々には皆さん明るい表情をされており充実した生活を送っている事が伝わ

になって約一年半。毎日が新しいことだらけで日々勉強させてもらっています。以前働いて

OB会忘年例会に参加して

中2病棟 岡田知子

2023年12月16日、ひまわりホールにて林病院OB会忘年例会が開催されました。アルコール病棟を離れ数年、久しぶりの開催にお誘い頂き、どのような方々に会えるのだろうかとドキドキとワクワクと少しの不安の中の参加でした。

加賀さんの司会により会が始まりました。参加者みんなの近況報告や入院していた頃の思い出、断酒をしている話など、お互いに語り合いました。そして、恒例のビンゴゲーム大会!! 各々が考え持ち寄った景品です。誰が一番かな、どれを選ぶのかな、何番を出してほしいかな等、みんな笑顔で真剣でした。我が家では、以前忘年例会で頂いたトレーナーが今も活躍していま

てきました。それは苦しい期間を乗り越え、断酒生活を継続出来ている自信から来るものだと感じました。OB会の方々は自分の時間を割いて林病院にご足労頂いて自分の経験を教えてくれます。成功体験を語るOB会の皆さんはとても素敵であり、同時に勉強になりました。気さくに話しかけて頂いたり、ビンゴゲームをしたりあつという間に時間が過ぎました。

この貴重な体験を日々の仕事に生かして、OB会の皆さんに負けない位充実した日々を送りたいと思います。参加させて頂いてありがとうございます。

林病院OB会忘年例会に参加して

中2病棟 岩本康子

2023年12月16日(土) 13時から林病院ひまわりホールに於いて、4年ぶりにOB会忘年例会が開催されました。総勢25名の参加者で、加賀さんの司会のもと穏やかな雰囲気の中、会が始まりました。参加者が順番に近況報告や林病院での入院生活の思い出、断酒が続いている報告などを語り合いました。以前、私たちがアルコール病棟で働いていた時、入院していた患者さんも何人か来られており、元気な姿を見るだけでも嬉しい気持ちになるものです。そして、ワクワクするビンゴゲームで、持ち寄ったプレゼントをビンゴした順番に選んで頂きました。

OB会忘年例会への参加は今回で3回目になりますが、前田先生が毎回参加して下さるので、特別な会として引き立っているように感じます。以前は、昼食を挟みもう少しゆったり交流する時間があったのですが、コロナ等の影響で午後から駆け足で終わってしまっただけです。また、機会があれば参加しようと思えます。

す。コロナ前に何度か参加させて頂きましたが、今回も懐かしい面々の元気な姿が見え嬉しく思いました。お互い平等に年を重ねています。元気にまたお会いしましょう。

林病院OB会忘年例会に参加して

岡山東支部 林病院OB会員

12月16日土曜日に、林病院OB忘年例会が開催されました。OB・家族18名、病院スタッフ6名に、前田先生も駆けつけて下さいました。

皆のお楽しみみのビンゴ大会。ビンゴと言えば伍賀さん(笑)の名司会で、当たった方からプレゼントを戴きました。

会食などの制限はありましたが、コロナ明けの4年ぶりのひまわりホールでの開催が本当に嬉しくて、楽しい時間が過ごせました。

病院スタッフの皆さんに感謝!

一年表彰受賞者の紹介

令和6年1月2日岡山県断酒新生会新年互礼会で、鴨方支部 大田原秀行さんが完全断酒一年表彰をいただきました。

林病院家族会・女性ミーティング

ソーシャルワーカー 宮武瑞希

今回は当院の家族会と女性ミーティングについて紹介します。

家族会は、アルコール依存症の方の家族を対象に月二回開催しています。家族会では、家族同士が自らの経験を分かち合ったり、医師がアルコール依

存症に関して講義をしています。当院にかかっている方々の家族でも参加できる事が特徴です。

最近では断酒会員の家族も来られ、さらに家族のつながりの輪が広がっていると感じます。

「本人を何とかしたい」という思いから参加していた家族が、参加する中で自分自身のために来て、力をもらった癒されたりする居場所になるように願っています。

女性ミーティングとは、アルコール問題に悩みながら生活する中で感じる思いや苦しみを女性だけの場で語り、聴き、共感しあう場所です。入院中の方だけでなく、以前入院を経験し外来通院されている方や、断酒会員など参加者は様々です。近況についての報告やアルコール問題だけでなく家庭や育児の悩み・対処法・今頑張ろうと思えることなど、言いっぱなし・聴きっぱなしの原則で、和気あいあいと話合っています。

入院期間が重なっていない方々が新たに会ったり、再開を喜んだりする姿に私自身も励まされています。

家族会・女性ミーティングでお会いできることを楽しみにしています。

・家族会

第一金曜日 18:30~19:30

看護師・ソーシャルワーカー

第三水曜日 12:00~14:00

医師・看護師・作業療法士・ソーシャルワーカー

・女性ミーティング

第二・四水曜日 13:00~14:00

新任師長・主任紹介(2月1日付け)

岸田拓直 師長

梅野雅子 主任

宜しくお願いします。

外来アルコール教室に通い始めて

岡山東支部 山口 駿

去年から月一回、外来アルコール教室に通わせていただいている。北山先生の話は毎回新鮮な驚きに充ちている。かつて私の主治医だった前田先生とはまた視点が違うというのもあるだろう。

一番びっくりさせられたのは脳内麻薬の概念である。アルコールがアルコールを呼び、酒が止まらなくなっているのだと思いついていたのだが、それだけではない。自分の脳が依存を誘発させる物質を生成してしまうのである。アルコールはその燃料でありスイッチではあるが、それを形成させるシステムはもっと全身全霊のダイナミズムなのである。

それどころではない。自分の属する家族や会社、社会全体で、依存が無限に続いてしまう仕組みが出来上がってしまふ。だから問題は一朝一夕には解決しない。けれど酒害者自身が酒を断ち、飲まない日々を重ねてゆくより外、解決はないのである。

ここまで書いて、何を今更と自分でも思う。前田先生からも同じことは聞いたはずなのである。かつては聴く耳がなかったのである。あれから時が経ち、なんとか飲まない日々を送らせていただいているからこそ、酒の切れた脳に不都合な真実を受け容れる余地が生まれたのである。

自立支援の制度を別病院で使わせていただいているため、3割負担の「医療費」がかかる。障害者手帳で一本映

画を観る程の費用である。けれどその価値は存分にある。自分の人生をハッピー・エンドへ導くため、これからは顔をさせていたたくつもりである。今年もよろしくお願ひします。

令和6年を迎えて

林病院OB会会長 加賀純雄

昨年、5月10日より林病院院内断酒例会が、7月15日より林病院OB懇談会が再開しました。また、年末には3年ぶりに酒なし忘年会に参加させて頂きました。

コロナ感染症の様々な制約は残りつつも、私たち林病院OBにとって待ちに待った林病院院内断酒例会が再会し、久しぶりに会うOBの方、林病院を退院し新たに参加された方、「ご家族の方、多くの参加者に支えられ開催してきました。今年も林病院OB会、力を合わせてより良い林病院院内断酒例会にしていきたいと思います。

私たち林病院OB会は、断酒を考える酒害者を支えるため、今何が出来るかを考え、「支え合う仲間」の発行をはじめ、様々な取り組みを進めていきたいと思ひます。

今年も宜しくお願い致します。

